

平成 21 年度青年の地域貢献活動支援事業「チャレンジファンド」応募要項

1 趣旨

学生など青年（30 歳未満）が主体となって、県内で様々な地域貢献活動に取り組んでいるボランティアサークル・グループが実施する「環境」をテーマとする子ども（中学生まで）対象の体験活動プログラムの事業計画を公募し、これから実施する事業に対して支援する。

2 主催

広島県青少年ボランティア活動推進委員会
教育ネットワーク中国
広島県教育委員会（主管：広島県立生涯学習センター）

3 協賛企業 広島ガス株式会社

4 応募対象

(1) 団体

学生など青年（30 歳未満）が主体のボランティアサークル・グループ
（30 歳未満の青年の占める割合が 50%以上であることが選出の条件になります。）
ただし、次のようなサークル・グループは除きます。
・政治活動、宗教活動を主な目的としているサークル・グループ
・特定の個人などのみが利益を受けているサークル・グループ
昨年度選考されたサークル・グループも応募できます。

(2) 活動の内容

「環境」をテーマとする「子ども対象の体験活動プログラム」で、広島県内の地域で実施される事業（「環境」とは自然環境だけでなく、社会環境など広い意味でとらえたプログラムを対象とします。）

子ども対象（中学生まで）の事業（募集対象年齢が中学生以下であることが選出の条件になります。）

平成 22 年 3 月（支援決定後）から平成 22 年 10 月末までに実施される事業

ただし、次のような活動は除きます。

・地区住民の交流行事などの親睦的なイベント（町内会の祭り、芸能大会など）

5 資金援助金額

1 プログラム当たり 5 万円を限度とし、総額 40 万円程度

6 資金援助までのスケジュール

応募要項配布	平成 21 年 11 月～
応募締切	平成 21 年 12 月 18 日（金）【必着】
1 次審査（書類審査）	平成 22 年 1 月下旬【決定後結果通知】
2 次審査（プレゼンテーション）	平成 22 年 2 月 21 日（日）【結果発表（当日）】

7 応募方法

所定の応募用紙 1・2・3 に記入し、郵送、ファクシミリ又は電子メールのいずれかにより、お申し込みください。

応募用紙は、広島県立生涯学習センターのホームページからもダウンロードできます。

URL：<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/gakushu/center/center/model/seinen/index.html>

8 選考方法

(1) 1次審査(書類選考)

提出していただいた応募用紙の内容を審査し、10プログラム程度を選出します。

一次審査は非公開です。

選考の結果は、事務局から郵送で通知します。

(2) 2次審査(プレゼンテーション)

1次審査で選ばれた事業計画についてはプレゼンテーション(公開)による審査を行い、目的・内容など5分程度で自由に発表していただき、資金援助の対象となる事業計画を8プログラム(予定)選出します。

2次審査(プレゼンテーション)は平成22年2月21日(日)に行います。(場所は調整中。)

実施主体者の代表者又は事業担当者は、必ず2次審査に出席し、プレゼンテーションを行ってください。(欠席の場合は選出されません。)

(3) 選考のポイント

< 1次審査・書類選考 >

予算計画：予算計画が適正で、支援金の効果が期待できること。

チャレンジ性：新しい企画にチャレンジしたいという気持ちを感じられること。

学び：参加する子どもにとって「感動、気づき、学び」がある事業であること。

アイデア：アイデアが斬新であること。ただし、実現できる企画であること。

地域貢献：ボランティア活動が活性化し地域への貢献が期待できること。

安全対策：安全対策が図られていること又は安全に実施できる事業であること。

< 2次審査・プレゼンテーション >

上記 ~ の選考ポイントに加えて

ギャラリー(聴衆)や審査員に事業の概要などが分かりやすく伝えられ、事業に対する熱意を感じられること。

最終的には書類選考とプレゼンテーションにより、支援サークル・グループを決定します。

9 資金援助決定後の対応

援助金は、後日各サークル・グループの指定する銀行口座に振り込みます。

活動が終わって1か月以内又は平成22年11月10日(水)のいずれか早い日までに、事業の概要・成果・会計報告などをまとめた「事業終了報告書」を提出してください。

10 個人情報の取扱い

個人情報については、広島県立生涯学習センターが責任をもって管理します。個人の「名前」・「住所」・「電話番号」は、当センターとの事務連絡のみに使用します。

11 申込み及び問合せ先

広島県立生涯学習センター 振興課 担当：金沢

〒730-0052

広島市中区千田町三丁目7-47

電話：082-248-8848

ファクシミリ：082-248-8840

電子メール：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

青年の地域貢献活動支援事業「チャレンジファンド」 応募用紙 1

(必ず「応募用紙 2 3」とセットでご提出ください。)

あなたの所属するサークル・グループについて、教えてください。

サークル・グループ名			
フリガナ			
代表者名	(所属)		
サークル・グループ住所等連絡先	(〒)		
	TEL ()	-	
	FAX ()	-	
	E-mail		
フリガナ			
連絡責任者の名前			
連絡責任者の連絡先	(〒)		
	TEL ()	-	
	FAX ()	-	
	E-mail		

連絡責任者は代表者と同一でも構いません。

当センターからの連絡はすべて連絡責任者あてに行います。

結成年月	年 月
結成目的	
主な活動エリア (市町)	
会員数	高校生 _____ 人 大学生 _____ 人 専門学校生 _____ 人 社会人(30歳未満) _____ 人(30歳以上) _____ 人 その他() _____ 人 合計 _____ 人
現在の活動内容	
サークル・グループの財源について	年間総予算： 約()万円 収入内訳(総予算に占める割合をご記入ください) 会費 ()% 行政補助金 ()% <u>主な資金源</u> その他 ()% <u>具体的に</u>

個人情報については、当センターが責任をもって管理します。個人の「名前」・「住所」・「電話番号」は、当センターとの事務連絡の際にのみ使用します。

青年の地域貢献活動支援事業「チャレンジファンド」 応募用紙 2

実施予定の事業について、教えてください。

(必ず全項目について御記入ください。なお、この「応募用紙 2 3」はプレゼンテーション当日、会場内で公開されることを前提に御記入ください。)

事業の名称	
実施主体（サークル・グループ名など）	
事業の目的	
事業の対象 （募集人数）	
事業の概要 （200字程度でお書きください。）	
プログラム内容 （具体的な実施プログラムをお書きください。）	
実施主体（サークル・グループなど） にとっての効果	

青年の地域貢献活動支援事業「チャレンジファンド」 応募用紙 3

収支計画書

サークル・グループ名

(1) 支出

費 目	金 額	内 訳
チャレンジファンドから支出する経費		
報償費 (講師へのお礼など) 旅費 (講師の交通費など) 消耗品費 (文房具代, 材料代, 用紙代, 報告書用写真 代など) 食料費 (講師弁当代 キャンプなど の野外炊事など, 教材で使う 食材費) 役務費 (切手代など連絡にか かる経費) 使用料及び賃借料 (会場使用料 機材レ ンタル料など)		
小 計	円	
チャレンジファンド以外から支出する経費があればお書きください。		
小 計	円	
合 計	円	
援助希望額		円

(2) 収入

収 入	金 額
チャレンジファンドからの収入(希望額)	円
チャレンジファンド以外からの収入があればお書きください。	
(例) 参加費	

「チャレンジファンド」応募用紙3記入上の留意点

< 支援金額 >

プログラム全体で支援金額5万円が限度額です。チャレンジファンドから支出する経費及び希望額は5万円以内で計画してください。

1 旅費について

- ・基本的にはスタッフ・参加者の旅費は出せません。しかし、プログラムによっては、会場移動などで出せる場合もありますので、相談してください。

2 宿泊費について

- ・施設に宿泊する場合、その宿泊料は対象外です。

3 消耗品費について

写真代

- ・ここでいう写真代とは、報告書などで使う写真のことで、参加者に配る写真代は対象外です。

クラフト材料費

- ・例えば、紙飛行機セットなど、参加者一人一人に配るものは対象外です。
- ・例えば、「昔の遊び体験」で、竹馬等の作成を行う場合、その材料費は支援金の対象となります。

4 食糧費について

参加者・スタッフの食料費

- ・スタッフ・参加者の弁当など食費は対象外です。ただし、プログラムに野外炊事などが組み込まれ、体験活動を行う場合、教材としての材料費は対象になります。

青年の地域貢献活動支援事業「チャレンジファンド」

継続サークル・グループのみ応募追加用紙

(継続サークル・グループのみ記入してください。)

サークル・グループ名	
応募プログラム	
本年度実施した事業名	
本年度実施した事業の 成果と課題	

青年の地域貢献活動支援事業「チャレンジファンド」 事業終了報告書

実施した事業について、記入してください。

必ず全項目について御記入ください。

なお、この「事業終了報告書」はセンターの「ホームページ」などで公開する予定ですので御了承ください。

事業の名称	
実施主体（グループ・サークル名など）	
実施時期	年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ）
参加者数 / 募集人数	参加者数 人 / 募集人数 人 （内訳） 小学生 人 中学生 人 その他（ ）人
ボランティアスタッフの人数	高校生 _____人 大学生 _____人 専門学校生 _____人 社会人（30歳未満） _____人 （30歳以上） _____人 その他（ _____） _____人 合計 _____人
事業の概要（実施内容）	
参加者の様子及び事業の成果	
会計報告	

事業が中止又は援助金が余った場合は返金してください。

事業終了後収支決算が分かる会計報告書（領収書添付）を提出してください。

参加者の様子及び事業の成果，会計報告は別紙で提出しても構いません。

活動の様子が分かる写真等ホームページや資料などで公表してもよいものを添付してください。

写真は返却しませんので，御了解ください。

募集要項があれば添付してください。